

広報



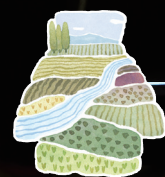
くろまつない

黒松内吹奏楽団定期演奏会



Public Information kuromatsunai No.589
1
令和6年

主な内容
年頭挨拶
黒松内町の主なニュース



the most beautiful
villages
in japan



年頭挨拶

黒松内町長

鎌田

満



明けましておめでとございます。令和6年の新春を皆様と共に
お迎えできますことを心からお
喜び申し上げます。

平素より、町政の推進に格別
なる御支援、御協力を賜り、心
から御礼を申し上げます。

昨年5月の新型コロナウイルスの「5
類」移行後、ようやくコロナ禍
前の日常を取り戻し始めたとい
うところですが、年末に季節性イン
フルエンザの感染拡大により町
内小中学校の学校閉鎖が相次ぎ
ました。年末年始は買い物や会
食、帰省など人との接触機会が
増える時期ですので、引き続き
体調管理にお気を付けくださ
い。

さて、昨年の本町で最も大き
な話題と言えは、「プロ野球ド
ラフト会議」で、星槎道都大学
4年生滝田一希（かずき）君が
広島東洋カープから3位指名を
受け、本町出身者としては初の
プロ野球選手が誕生したこと
です。これまで「健康とスポーツ
の町」として取り組んできたこ
とが素晴らしい形になって表
れ、大変喜ばしい限りです。滝
田君には自身の信条である『名
もない雑草にも陽は当たる』と
いう初心を忘れず、厳しいプロ
の世界で活躍することを期待し
ています。

また、同じく本町出身の東洋
大学2年生宮下朝陽（あさひ）
君が、日米大学野球選手権大会

の日本代表に選出され、また弟
の北海高校2年生宮下温人（は
ると）君が夏の甲子園に出場す
るなど、明るい話題で町内を沸
かせてくれました。

一方、私達の生活は、ウクラ
イナ情勢や世界的な原材料価格
の上昇などによる物価高騰のた
め、引き続き、厳しい状況に置
かれています。そのため、本町
では国から交付される臨時交付
金を活用した非課税世帯に対す
る7万円の現金給付を始め、本
年も様々な物価高騰対策に取り
組んでまいります。また、今後
もしつかりと国の動向を見極
め、町民の皆さんの生活に直結
する施策を行ってまいります。

本町の人口は、昨年11月末時
点で2,578人となり、人口
減少と高齢化が更に進んだ状況
にあります。このことから、も
人口減少を最小限に抑えなが
ら、地域の活力を維持していく
ことが重要であり、本年も自家
住宅建築等の奨励金や外国人労
働者の雇用促進による定住人口
の増加の取組に加え、若者の定
住を促進するための各種施策を
実施していきます。また、マン
パワー不足の解消にも有効な地
域おこし協力隊員等の方が10名
となり、農業・観光・教育等の
分野で活躍されています。こう
した地域づくりの実践者の活動
がもつと広がるよう、更なる増
員を目指します。

昨夏は本町においても記録的
な暑さとなり、町民の皆さんに
おかれましても大変な御苦勞を
されたことと思います。今夏か
らは、町内の公共施設を猛暑か
らの一時避難場所となるクーリ
ングシエルターとして運営する
ほか、まずは小中学校へのエア
コン設置を急ピッチで進めてま
いります。また、懸案であった
旧国保病院の解体にも着手する
予定であります。

昨年は、西予市（旧野村町）
と姉妹市町提携を結んでから30
年を迎えた記念の年で、「ふる
さと納税の推進による相互理解
の促進」や「相互の記念事業へ
の積極的参加」などの共同宣言
を行い、今後も永い交流を続
けていくことを誓い合いまし
た。

「ふるさと納税」は、順調に
寄附額が増加していましたが、
昨年10月の制度改正や昨今の物
価高騰などの影響で、寄附額の
総額は昨年度並みとなる見込み
です。寄附の概ね半額は町の貴
重な自主財源となりますので、
今後本町を応援してくださいさ
る方が一層増えるよう、関係者間
で連携して取り組んでまいりま
す。

トフ・ヴェールの「くろまつ
ないのゴーダ（長期熟成）」が
昨年のワールドチーズアワード
で銀賞を受賞しました。指定管

理者の株式会社フジタコーポ
レーションとは昨年12月に包括
連携協定も締結し、今後もより
魅力的な特産品の開発・販売に
努めていきたいと思います。

観光・交流分野では、昨年1
月に株式会社キャンパースアン
ドアングラースと包括連携協定
を締結し、オートキャンプ場
の駅といった交流施設の今後の
運営方法を検討しているところ
です。また、観光協会において
は、インバウンド対応やアドベ
ンチャートラベルを更に推進す
るため、地域活性化起業者制度
を活用し、本年4月から大手航
空会社の関連企業から職員を派
遣してもらえよう協議してい
るところです。

ピーフ天国は、4年振りに開
催することができました。本年
も役場裏駐車場を会場に、7月
27日（土）の開催を予定し、実
行委員会において内容の検討を
進めていきます。

JR函館本線長万部・小樽間
のバス転換に向けた協議は、利
便性と速達性の確保に重点を置
いて現在も続けていますが、新
年度においては地域の公共交通
を維持するために近隣町村と一
緒に課題である運転手確保の取
組に注力してまいります。

昨年3月、2050年のカー
ボンニュートラルの実現に向け

た具体的な取組をスタートさせ
るため、「マイナズ・カーボン
シティ」を宣言しました。本年
3月までには、目標の設定も含
め総合的に施策を推進するため
の実行計画を策定します。

合わせて、月越地区で進めら
れている民間事業者による風力
開発を支援し、本町における再
生可能エネルギーの活用を推進
してまいります。

高齢化・過疎化が進展する中
で、都市との経済的・社会的格
差を是正し、本町が持続可能な
地域となるための「デジタル化
の促進」といった『今の時代に
必要な施策』についても積極果
敢に取り組んでまいります。

早いもので私が町長に就任し
てから11回目の新年を迎え、3
期目の任期も残すところ1年余
りとなりました。本年は3期目
の集大成として、今後のまちづ
くりの道しるべを明確にし、町
政運営の信条とする「町民が主
役のまちづくり」を、今後も変
わらず進めていくため、第四次
総合計画を基本とし、直面する
課題に正面から向き合い、町民・
事業者との協働の下、これまで
以上に日々精進し黒松内町をよ
り良いまちにしていこう、その
ように心新たにしております。

新しい年が町民の皆様にとり
まして、明るく幸多い年となり
ますようお願い、新年の御挨拶と
いたします。



年頭に当たって

黒松内町教育長

鈴木 浩勝

新年おめでとうございます。皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃より教育委員会の業務全般にわたり、御支援御協力を賜り心より感謝申し上げます。

昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、感染防止に配慮をしながらはあります。各種行事、イベントや教室などの活動が教育委員会

におきまして、学校や各文化・スポーツ・地域づくり団体などでも活発となり、再び、多くの方が出会い、楽しみが生まれることができました。

本町出身の星槎道都大学4年生の滝田一希君が、プロ野球広島東洋カープに入団が決まりました。小学生から野球を始めた滝田君は、大学時代の活躍が高く

評価され、ドラフト3位指名を受けました。夢を持ち続け、一歩一歩の積み重ねが大切であると、教えていただきました。町民にとっても初めてのプロ野球選手が生まれたことで、より野球が注目されることでしょう。

黒松内小学校が昨年、開校140周年を迎えました。町の歴史の中で、子ども達の学びの場として、各時代の先生や地域の大人が子供の学びを支えるため、学校建設や運営に御尽力いただいた証といえます。これは、町内にある他の学校も同様であるとともに、子供達を大切に育み、将来につないで行かなければならないと改めて強く感じま

した。

教育の現状におきましては、町民の皆様がふるさとを愛し、文化にふれ、生活に楽しさや喜びを実感できる環境づくりに努め、また、中学校の部活動指導員の地域移行とともに質の高い教育の持続的な継続を目標とした教員の働き方改革や、総合町民センターの改修計画、町の歴史を知る郷土品の保存・展示等のあり方などの課題に対し、取り組んでまいります。

町民センターの改修では、「学びと子育て」の多世代交流複合拠点施設をテーマに、大ホールの整備や、放課後子ども活動や□ビーの多目的利用を可能と

し、再生可能エネルギーを暖房利用に取り入れたいと考えております。

結びに、総合教育大綱に掲げる「深く、強く、広い心の黒松内人を育て」の基本理念のもと、教育は未来につながる仕事であるとの意識を持ち、教育委員会一同精進していく所存でありますので、町民各位の御支援御協力を重ねてお願い申し上げます。本年が皆様におかれまして、干支の辰のように大空を舞い上がる元氣にあふれ、明るく、いきがいをもち、希望に満ちた年となりますよう心から御祈念申し上げます。新年の御挨拶といたします。

理解を深める場を増やしてほしいという要望等がありましたので、今後も継続してまいります。



新年を迎えて

黒松内町議会議長

福本 誠一

明けましておめでとうござい

ます。令和6年の年頭に当たり、黒松内町議会を代表して、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

昨年10月の改選に伴い、議会も新たな構成となりました。

議員一同、決意を新たに、町民の皆様にとって身近な開かれた議会を目指し、町政発展のために誠心誠意取り組んでまいりますので、よろしくお願い申

上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが、5月から季節性インフルエンザと同等の5類へ変更されました。感染拡大を防ぐための私

権制限などはなくなり、感染対策は個人の判断に委ねられ、私たちの生活に大きな影響を及ぼした□□ナ対応は、「平時」への移行に向け節目を迎えまし

た。

□□ナ対策については、常任委員会での議論をしてみました。が、ワクチン接種の方法や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した様々な感染症防止対策や緊急経済対策について、町と議論し効果的な対策が実行できたと考えています。

町議会に関心を持っていただくため、令和2年3月に議会活性化特別委員会を設置し、本町に適用した議会活動の在り方を調査検討してまいりました。

委員会では、町議会の役割及び活動や町議会議員の仕事について、議員が直接町民の皆様と説明をする機会が必要であると

いう意見が出されました。そこで、先進自治体の取組等を参考に、令和3年8月から議員が町民の皆様のところを訪問し、希望のテーマに沿って話や意見交換をする議会出前懇談会を始めることとし、これまで4回にわたり町民の皆様と懇談をしてきました。

また、昨年2月には、13年振りととなる議会報告会を開催し、7月にも2回目の議会報告会を開催し、参加された皆様と町の課題等について意見交換を行いました。議会報告会に併せて議会に対するアンケート調査も行いましたが、出前懇談会や議会報告会など議員と町民が相互

に、再生可能エネルギーを暖房利用に取り入れたいと考えております。

新しい年が町民の皆様にとりまして、明るく幸多い年となりますよう心から御祈念申し上げます。新年の御挨拶といたします。

人口減少や少子高齢化、地域公共交通の確保など様々な行政課題がありますが、町民の皆様が安全で安心して暮らすことができるまちの実現に向けて、町議会としても負託に応えるべく全力で取り組む決意であります。

記憶に刻んでおきたい 令和5年

黒松内町の主なニュース



ビール天国が4年ぶりに開催!



西予市姉妹市町提携30周年



「自然共生サイト」に
歌才湿原と添別ブナ林が認定!



滝田一希投手が広島東洋カープ
ドラフト3位指名!

- ◆株式会社キャンパーズアンドアングラーズと包括連携協定を締結(1月)
- ◆マイナズカーボンシティの実現を目指すことを宣言(3月)
- ◆西予市姉妹都市提携30周年(3月)
 - ・西予市との姉妹都市提携が30周年を迎えた。11月21日には西予市で記念式典が開催され、今後のさらなる交流発展を誓った。
- ◆生活協同組合コープさっぽろとはしっこ同盟の3町で包括連携協定を締結(7月)
 - ・11月21日からはコープさっぽろ移動販売車「おまかせ便カケル」の運行が開始され、市街地から離れて住んでいる方の買い物支援を行う。
- ◆牛と!!ビール天国くるまつないマルシェを開催(7月)
- ◆宮下温人さん(本町出身)が北海高校のレギュラーで「第105回全国高等学校野球選手権大会」に出場(8月)
- ◆ファミリー・サポート・センター事業を開始(8月)
- ◆国(環境省)の認定制度「自然共生サイト」に歌才湿原と添別ブナ林が認定(10月)
- ◆滝田一希投手(本町出身)が広島東洋カープにドラフト3位指名(10月)
 - ・本町出身者としては初のプロ野球選手が誕生。11月7日には本町を表敬訪問し、ドラフト指名の喜びを報告した。
- ◆特産物手づくり加工センター「トワ・ヴェール」の『くるまつないのゴード(長期熟成)』がワールドチーズアワードで銀賞を受賞(10月)
- ◆北海道大学 大学院農学研究院・大学院農学院・農学部・大学院国際食資源学院と連携協定を締結(11月)
- ◆株式会社フジタコーポレーションと包括連携協定を締結(12月)

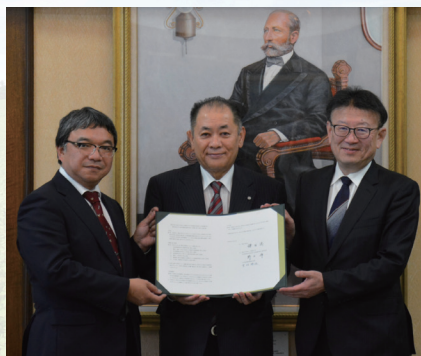
北海道大学 大学院農学研究院・大学院農学院・農学部・大学院国際食資源学院と連携協定を締結

11月27日(月) 農学部本館にて、大学院農学研究院・大学院農学院・農学部・大学院国際食資源学院と本町の連携協定に関する調印式が執り行なわれました。

本町は豊かな自然を活かした農業の盛んな地域であり、以前より農学研究領域の多くの研究者により湿地や河川、森林等の調査研究、さらに無肥料・無農薬放牧法の産学連携研究など、多様な研究開発や教育活動が行われてきました。

北海道大学(旧北海道帝国大学)と本町との関係が記録されているのは今からちょうど100年前の大正12年に故新島義直教授によって記された「天然記念物調査調書」にさかのぼります。この調書に基づき「歌オプナ自生北限地帯」が昭和3年に国の天然記念物に指定されました。

その後、太平洋戦争末期の歌オプナ伐採の危機では、故館脇操教授の尽力により伐採が免れており、この物語は市民劇「北のヤシの木」でもおなじみです。平成に入ってから故辻井達一教授の指導による「国際プナフォーラム」の開催や北海道遺産登録など、本町の基盤となる自然環境保全と持続的な利用を旨とする思想と実践の礎が築



▲曾根輝雄 大学院国際食資源学院長(写真左)
鎌田満 黒松内町長(写真中央)
野口伸 大学院農学研究院長(写真右)

かれてきました。

近年では、国際食資源学院のフィールド実習や海外の短期留学生向けプログラムPARE実習など、本町は自然生態系を生かした教育プログラムの実施先ともなっており、生物多様性を基盤とした生産活動を間近に学ぶことのできる地域としての認識が学内で高まっています。

これらの経緯を踏まえ、産学官の連携による教育研究をより一層推進し、研究成果を本町に還元することにより、地域振興につなげるため、連携・協力に関する協定を締結しました。今後は豊かな自然環境を持続的に活用する環境保全型農業など、北海道全体の食糧生産を維持発展するための応用研究も含めた新たな取組が進められます。



愛媛県西予市との姉妹市町交流が

30周年を迎えました

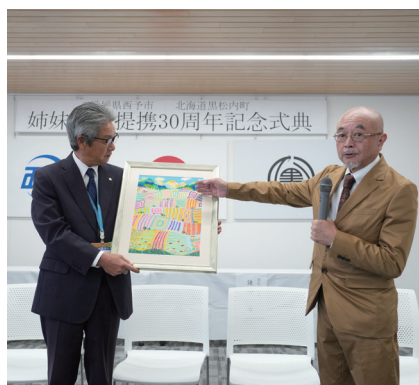
本町と愛媛県西予市(旧野村町)は、平成5年に姉妹町提携を結び、これまで30年間にわたり、住民や小学生の相互訪問、野村高校酪農実習生の受入れなど多くの姉妹市町交流派遣事業を実施し、延べ1600人を超える方々が交流してきました。

また、平成30年の西日本豪雨により西予市が被災した際には、「姉妹市町災害時相互応援協定」に基づき、本町から職員1名を1年半派遣し、復興を支援しました。

今回の30周年を区切りに、より絆を深めるため、「姉妹市町提携30周年共同宣言」を締結しました。



▲愛媛県西予市長管家一夫市長(写真左)と鎌田満町長(写真右)



▲姉妹市町30周年を記念して制作した絵画を説明する三浦義也さん(写真右)

- この宣言では、
- ①大規模災害発生時の
 - ②ふるさと納税返礼品を通じた
 - ③互いの記念行事への積極的な参加
 - ④人口減対策としての

移住フェアの共同開催が明記され、非常時の一層の相互支援、文化的・経済的な交流をさらに深めることを確認しました。

11月21日に野村支所で行われた30周年記念式典には、鎌田町長、福本議長、菅副議長らが出席。共同宣言の調印のほか、記念品の交換を行い、本町からは三浦義也さんが制作した絵画を贈呈しました。

11/17 (金) 「ナマステ」とごあいさつ！
白井川小学校
ネパール現地校と交流



国際理解教育の一環で、白井川小学校とネパール現地校の児童がオンラインで交流し、お互いの文化や学校生活について紹介しました。

白井川の児童からは、日本の給食や昼休みに鬼ごっこなどの遊びをしていること、運動会やもちつきなどの学校行事があることを紹介し、ネパールの児童からは、学校が10時から16時までで、帰宅後には家の仕事や畑の手伝い、ヤギや牛の世話をしていることなどが紹介されました。

参加した児童は「ネパールの学校に校歌がないことに驚きました。遠い国の人もオンラインで繋がることがわかったので、もっと他の国の人も交流してみたいです。」と話していました。

11/21 (火) 永年の功績が認められ
黒松内中学校
租税教育表彰

児童・生徒に対する租税教育の推進と租税教育推進のための基盤整備に特に功績のあった学校として黒松内中学校が選出され、俱知安税務署から感謝状が伝達されました。

黒中は平成18年から租税教育を始め、税理士会や俱知安税務署の方などを講師に招き、税に関する教育を行ってきました。これらの取組が評価され、今回の表彰となりました。



12/2 (土) かしくやさしくたくましく
黒松内小学校
開校140周年記念



黒松内小学校開校140周年を記念した、公開授業と記念式典が同校で開催されました。
まず、全学年の公開授業を実施。6年生はタブレットを用いて作成した歴史に関するクイズを出題し、児童だけではなく保護者も参加して解答する授業が行われ、児童たちは日頃の学習の成果を発揮していました。

記念式典では、在校生が黒小での学びや成長、思い出などを学年ごとに息の合った呼びかけで振り返り、最後は来場者全員で校歌を合唱しました。

12/9 (土) 創立30周年記念
黒松内吹奏楽団
第25回定期演奏会

黒松内吹奏楽団による第25回定期演奏会が、総合市民センターを会場に開催され、82名が来場しました。

創立30周年を記念した今回の演奏会では、今年大流行した曲や昔から親しまれている曲など、アンコールを含め、計10曲が演奏されました。

演奏会の後半には、吹奏楽団の演奏に合わせて来場者がペンライトを振るなど、会場が一体となる演出もあり大盛り上がりでした。



地域おこし協力隊 足立さん 新たな特産品「ブナクラフトビール」を開発！

黒松内ブランドの新品を開発！

私は普段、アンジユ・ド・フロ
マージュでチーズの製造・開発・販
売を行っています。チーズ作りをし
ながら黒松内で採れるものを使った
新たな特産品を作れないかと日々模
索していたところ、過去に飲食店に
勤めていた経験と全国各地の催事な
どでの販売の際に、たくさんのお酒
に触れたことやチーズを購入する人
はお酒好きの人が多いと感じたこと
から、新たな特産品はお酒がいいの
ではと考えていました。



▲色んな料理と一緒にクラフトビールを楽しんでほしいと話す足立さん

新たな特産品のアイデアを膨らま
せていたところ、知人が洞爺湖町で

クラフトビール会社を立ち上げるこ
とを知り、興味を持ちました。実際
に知人の工場に見学に行ったらとこ
ろ、クラフトビールは本町のおいし
い水を活かすことができ、小規模
ロットで、いろいろな味も付けられ、
様々な種類に展開できるということ
から、新たな特産品にふさわしいと
思い、知人の会社に製造を委託する
形でクラフトビールづくりを始める
ことにしました。

現在まで、フルーティで華やかな
香りが楽しめる「ブナレッド」、苦
みを抑えスッキリとした味わいの
「ブナブラウン」、町内で育ったブナ
の木を燻し、スモーキーな香りが楽
しめる「ブナスモーク」などを商品
化しました。

今年度は試験的に道の駅くるまつ
ないのみで販売しましたが、来年か
らは種類を増やし、販路も拡大して
いきたいと考えています。見かけた
際は是非手に取っていただき、香り
や味を楽しみながら飲んでいただけ
ると嬉しいです。

俳句

ぶなの里俳句会

起上り小法師のごとく年送る

喜美子

参道をしと夜におほふ枯落葉

ひろ子

夕時雨とろ火に煮込むカレーの具

孝子

モビールのゆらりくらりと毛糸玉

悦子

庭木みな繩にくくられ冬に入る

米子

木枯しや下校の子らは小走りに

奉子

飛行機雲ひとすじ残し冬あかね

かおる

戸籍の窓口（敬称略）

町の人口と世帯

11月末日現在（住民基本台帳）

2,578人（-44）

（うち外国籍住民：37人）

- 男 1,221人（-27）
- 女 1,357人（-17）
- 世帯 1,431世帯（-16）

※（ ）内の数字は前年同月との比較

こんにちはよろしくね

蔵田理功 14区
（父 幸人・母 みずほ）

いつまでもおしあわせに

村上周平・橋本千紗子
（北7区） （北7区）

御冥福をお祈り申し上げます

三本木 榮子 （共心）	91歳 11.22
佐藤 悦枝 （10区）	94歳 11.25
大場 繁 （老人ホーム）	78歳 11.26
山下 勝子 （添別）	79歳 11.26
柴田 タマ （アカシア町住）	90歳 11.30
竹鼻 敏文 （1区）	66歳 12.5

■お問合せ先
函館地方法務局八雲支局
TEL 013716212208

▼参加費 無料
二海郡八雲町相生町98番地
八雲町立図書館 視聴覚ホール

▼相談場所
13時～15時

▼相談日時
令和6年1月20日（土）

当日は、相続・遺言の基礎知識、遺言書の一般的な作成方法、「自筆証書遺言書保管制度」などについて、法務局職員が説明します。申込みは不要です。お気軽に御参加ください。

相続・遺言教室の開催について
函館地方法務局八雲支局では、次の日程で「法務局相続・遺言教室」を開催します。

お知らせ

定例法律相談について

札幌弁護士会では、岩内町に「しりべし弁護士相談センター」を開設し、法律相談を受けています。相談は無料で、事前予約制となりますので、希望される方は、左記までお申込みください。

▼相談日程（全て水曜日）

1月10・17・24・31日
2月7・14・21・28日

▼相談時間

13時～16時

▼予約受付時間

平日10時～16時

■予約・お問合せ先

札幌弁護士会
しりべし弁護士相談センター
TEL 013516218373



はしっこ同盟からのお知らせ

はしっこ同盟フェア開催

9月1日から30日までの期間、センチュリーロイヤルホテル（札幌市中央区）と共同で「はしっこ同盟フェア」を同ホテルで開催しました。

今回のフェアでは、同ホテルの「スカイレストラン ロンド」、「日本料理北乃路」において、各町が生産に力を入れているブランドミニトマト（長万部町）、成分無調整の町内産の生乳を使用したチーズ（黒松内町）、旨味のある脂身とジューシーさが特徴の豚肉（豊浦町）など、3町自慢の食材を使用した限定料理やデザートなどをコース仕立てて提供し、大勢のお客様の舌を楽しませました。

他にも、3町を巡る周遊観光コースを紹介するパネル展も同時開催し、海産物や農産物などのグルメや自然の中でのアクティビティなど、はしっこ同盟の観光の魅力を最大限PRしました。

今後も3町の情報や魅力を積極的に発信していきます。



▲3町自慢の食材を使った限定のコース料理を提供

広報 くろまつない

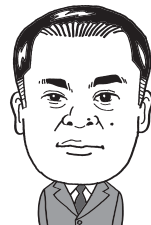
2023(令和5年).12.21 No.548

発行 黒松内町
〒048-0192 寿都郡黒松内町字黒松内 302 番地 1
TEL 0136-72-3311(代表) FAX 0136-72-3316
E-mail buna@town.kuromatsunai.hokkaido.jp
編集 黒松内町企画環境課
TEL 0136-72-3376(ダイヤルイン)
印刷 株式会社 総北海

●広報くろまつないNo.549 発行予定日は1月25日(木)です。

町政に対する御意見・御要望等がある方は「私の思い」に内容を記載の上、ファックスにて送信してください。「私の思い」は、記入用紙を役場庁舎に備えており、年2回広報折込でも配布しています。また、町ホームページから直接投稿することもできます。(http://www.kuromatsunai.com)

あなたの声を直接私に！



ファックス番号 72-3316（役場）



広報くろまつないは、震災復興型カーボンオフセット用紙を使用し、CO2削減事業並びに東北経済復興を応援しています。また、環境に優しい道産間伐材を配合した用紙を使用しています。